

'79バルナ映画祭 国際アニメフェスティバル グランプリ受賞

【曲目】

- ドビシー作曲  
「牧神の午後前奏曲」
- トボルザーク作曲  
「スラブ舞曲」
- ラベル作曲  
「ボレロ」
- シベリウス作曲  
「悲しみのワルツ」
- ビバルディ作曲  
「協奏曲ハ長調」
- ストラビンスキー作曲  
「火の鳥」

カラヤン+フェリーニ+ボゼット

この迫力!いま  
ディズニーは超えられた。

シンフォニック・アニメーション

# ネオ・ファンタジア

監督ブルーノ・ボゼット

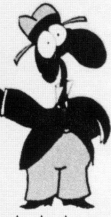
シナリオ●ブルーノ・ボゼット  
ギードマヌリ/モリツオ・ニケッティ  
アニメーション●  
ギゼップ・ラガナ  
ウォルター・キヤバゼット  
ジョバンニ・フェラーリ  
ジャンカルロ・セラダ  
ジョルジョ・バレンティノ  
ギードマヌリ  
バオロ・アルビッコ  
ジョオルジョ・フォーランティ  
撮影協力●  
フェデリコ・  
フェリーニ  
音楽・指揮●  
ヘルベルト・  
フォン・カラヤン  
演奏●ベルリン  
フィルハーモニー管弦楽団  
(グラムフォンレコード)  
製作●ブルーノ・ボゼット  
フィルム(ミラ)  
カラー作品(イタリア映画)  
1976年制作  
提供●BBプロモーション  
配給アートフォーラム

“笑い”と陶酔の85分”



MONTE DE CASABLANCA

# 心が歩きただす映画を見たい! そんな人に たっぷり 85分。



## ネオ・ファンタジア

### カラヤン+フェリーニ+ボゼット

●ウォルト・ディズニーが「ファンタジア」をつくってから40年が経った。40年……、世界のすべてが変わった。輝く未来を信じる楽天的ディズニーの世界は終り、真摯に時代を問い返してみる時期に来ている。

あくまでも「人間」を中心に、時代を、愛を、文明を問い返してみたい! そんな想いをこめて、イタリア・アニメ界の若き旗手、ブルーノ・ボゼットが映画にいだんだ。——「ネオ・ファンタジア」。

#### あのカラヤンが振った

クラシック界の帝王、ヘルベルト・フォン・カラヤンが音楽を担当。演奏は伝統あるベルリンフィルハーモニー管弦楽団です。

「ファンタジア」がレオポルド・ストコフスキー指揮、フィラデルフィア・フィルハーモニー演奏というアメリカサウンドであったのに対し、「ネオ・ファンタジア」は重厚かつ華麗なドイツサウンドです。クラシックファンなら、見のがすことはできないはず!

#### あのフェリーニが撮影協力

この映画は、アニメとライブとのくり返しという構成になっていますが、そのライブの部分の撮影に、あのフェデリコ・フェリーニが協力しています。

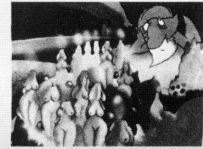
イタリア独特のギャグと風刺、その端的な映像表現に、「8と1/2」「サチユリコン」「フェリーニのローマ」の技法が、いたるところで芽えわたっています。

制作は、イタリア・アニメ界の彗星、ブルーノ・ボゼット

制作は、イタリアのディズニーともアンチディズニーとも言われるブルーノ・ボゼット(一九三八年生れ)。わずか二十歳で、「タム! 武器の歴史」によってデビュー。以来、「ロックス氏シリーズ」、「西部とソータ」、「僕の兄さんスーパーマン」等を精力的に撮りつづけ、五十年代後半の、イタリア・アニメ界の混迷を救った若き彗星です。現在まで、約六十もの国際的な賞を受賞!

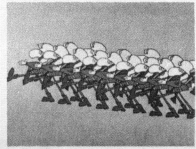
### 「シンフォニック・アニメーション」ストーリー

見る楽しみ、聴く楽しみがあふれているシンフォニック・アニメーション。まずは「牧羊の午後」から始まります。

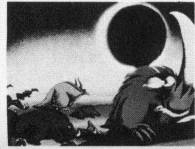


●ドビッシェ作曲  
「牧羊の午後前奏曲」  
青春という言葉とは、すでに遠くなってしまうたひとり

●ドルザーク作曲  
「スラブ舞曲」  
「類は友を呼ぶ」。群集心理は



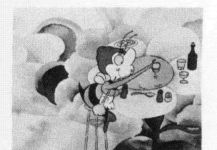
●ラベル作曲「ボレロ」  
低く、大地の鼓動のように響く「ボレロ」。アミーバーの



●シベリウス作曲  
「悲しみのワルツ」  
荒れはてたビルに住む野良猫が、昔、そこで暮した飼主



●ビバルディ作曲  
「協奏曲ハ長調」  
田園のミツバチの優雅な昼



●ストラビンスキー作曲  
「火の鳥」  
アダムとイヴの物語を、現代に置きかえたパロディ。



●「ネオ・ファンタジア」へ、絶讃の声  
アニメーションの技法に溺れることなく、人間のドラマを追及し、強烈なパロディを試みた「ネオ・ファンタジア」は、一九七七年、アメリカで公開されるやいなや大反響を巻き起こしました。

●「イエロー・サブマリン」以来、アニメーションの世界におけるただひとつの新しいものだ。」「(シアトル・タイムズ)紙1977.7.22」

●「ディズニーのファンタジアを真似るにはディズニーと同等の才能が必要とされた。それをブルーノ・ボゼットがやった」(「ロサンゼルス・マガジン」誌1977.9.12)

●「ボレロの部分の衝撃と迫力は、ディズニーにもとても真似が出来ない」(「レビュー」誌)

●「テーマは大人を満足させ、イメージは若者たちを魅了する。これは我々の時代の最もすばらしいコミックの大作の一つだ」(「フォーリン・セールス」紙1977.8.8)

●「ネオ・ファンタジア」は、一九七九年、ブルガリアで開催されたバルナ映画祭(国際アニメフェスティバル)でグランプリを受賞。八十年代はこの映画で始まる!

### ●特別鑑賞券発売中

1,000円(一般1,300円のところ)  
800円(高校生以下900円のところ)

●都内各プレイガイド・大学生協・文芸坐しねぶてい  
●お問合せ アート・フォーラム(585)2481 文芸坐ル・ピリエ(971)9422

### 【ハガキ予約申受中】

往復ハガキにご希望の枚数、住所、氏名、電話を記入の上、下記アート・フォーラムへお申込み下さい。当日劇場でお得な前売料金でご覧になれます。

●アート・フォーラム (03) 585-2481  
東京都港区麻布台3-2-6山野辺ビル BBプロモーション内

### 【上映劇場】(池袋東口)

文芸坐ル・ピリエ (03) 971-9422

### 【上映日時】

3月10日(月)~13日(木)、16日(日)17日(月)  
※14,15日は除く

平日	12:20	14:00	15:40	17:20	19:00
日曜	10:40	12:20	14:00	15:40	17:20